土岐市統計書

２０１９

－概要版－

目　次

土岐市民憲章・市のシンボル・・・・・2
土岐市民の歌・・・・・3
土地・気象・・・・・4
人口・・・・・6
産業・・・・・8
建築・運輸・観光・・・・10
安全・安心・・・・11
公衆衛生・・・・12
厚生・労働・社会保障・・・・13
教育・・・・14
財政・・・・15
所得・・・・16
統計からみる土岐市の暮らし・・・・17

凡　例

1．本書の内容は令和元年（平成３１年）の各統計資料を中心に作成しています。

2．資料は官公庁、民間団体ならびに庁内各課・室等からの報告によるもの、または、総務課において直接調査収集したものです。なお、資料の出所名は各図表の下部右端に掲げてあります。

3．期間について、年とあるのは１月から１２月まで、年度とあるのは４月から３月までです。

4．統計表中総数と内訳の計が一致しない場合もありますが、これは数字の単位未満について、四捨五入、または切捨てを原則としたためです。

5．数字の単位については、各表上部左端または表中に注記してありますが、一見して明らかなものは省略してあります。

土岐市民憲章

わたしたちは長い歴史と伝統をもつ「土と炎」の土岐市民です。
わたしたちのまちは先人の創造と努力によってきずかれ、世界と結ぶ「美濃焼のまち」として発展してきました。
わたしたちは土岐市民であることに誇りをもち、文化の香り高い産業都市へのしるべとして市民憲章を定めます。

一　自然を愛し　美しい土岐市をつくりましょう

一　きまりを守り 明るい土岐市をつくりましょう

一　健康で働き　豊かな土岐市をつくりましょう

一　教養を高め　伸びゆく土岐市をつくりましょう

一　力を合わせ　住みよい土岐市をつくりましょう

市の花・市章・市の木

キキョウ
（平成２年２月１日制定）

花期は７月～８月ごろで、花の色は青紫のほか白・ピンクなどがあります。また、中世に美濃国守護として活躍した土岐氏一門の旗印・家紋としても有名です。

（昭和３０年２月１日公表）

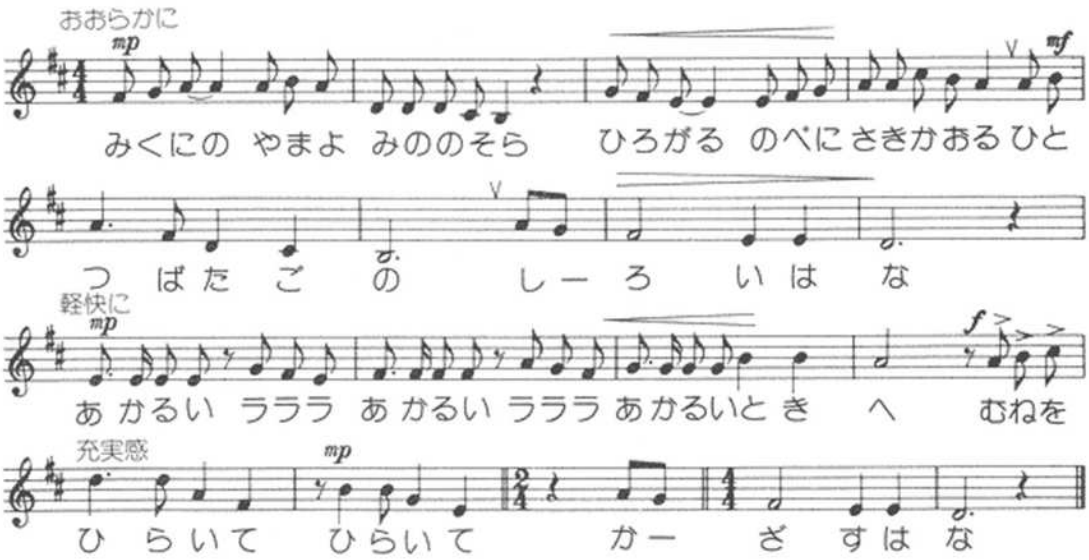
土岐市の頭文字である“土”を図案化したもので、窯焼く煙と温泉の湯煙をもって本市の表徴とし、これを市章と定めたものです。

ヒトツバタゴ
（平成２年２月１日制定）

ナンジャモンジャの別名で知られ、５月ごろ雪をかぶったように白い花をいっぱいに咲かせます。国内では、長崎県対馬北端、岐阜県木曽川周辺、愛知県の一部に自生しています。

土岐市民の歌

作　詞：土岐市民の歌制定委員会
補助詞：森菊蔵
作　曲：松尾隆夫



一

三国の山よ　美濃の空
ひろがる野辺に　咲きかおる
ひとつばたごの　白い花
あかるい・・・
あかるい　あかるい　土岐へ
胸を　ひらいて　ひらいて　かざす花

二

歴史を遠く　受け継いで
土焼く技に　生命こめ
まっ赤に燃える　窯の火
ゆたかな・・・
ゆたかな　ゆたかな　土岐へ
若い　情熱　ゆたかな　情熱
希望の火

三

みどりの丘に　かこまれて
土岐のながれの　ゆくところ
空よりひろき　こころこそ
のびゆく・・・
のびゆく　のびゆく　土岐へ
すすむ　われらの　われらの　旗じるし

（平成二年二月一日制定）

土　地　・　気　象

市域は、東西14.16ｋｍ、南北16.90ｋｍ、面積は116.16km²で、その約７割を丘陵地が占めています。地形は南に高く北に低く、特に南部は急峻な山地となっています。中央部の丘陵地は、陶土採掘や窯業用燃料として樹木を伐採したため、昭和初期にははげ山と化していましたが、その後約50年間にわたり治山事業が続けられ、現在は緑豊かな丘陵が取り戻されています。市街地は、北部を横断する土岐川流域及び支流の肥田川、妻木川流域の平坦部に開け、中央丘陵を環状に取り巻くように形成されています。平均気温15℃前後、平均湿度76%と温和な気候であり、年間降水量は1,500mm程度、夏季の降水量が多く、降雪は少なくなっています。

■　市域の変遷

編入年月日	編入地域	面積（㎢）
昭和30年2月1日	市制施行	116.29
昭和32年4月1日	泉町定林寺次月を可児郡御嵩町に編入	116.16

資料：総務課

■　範　囲

区　分	地　　点	東　経	北　緯
極　東	曽木町蘭仙	137°16'58"	35°19'03"
極　西	泉町久尻	137°08'40"	35°22'34"
極　南	鶴里町柿野	137°12'00"	35°15'06"
極　北	泉町定林寺	137°11'39"	35°24'14"
市役所	土岐津町土岐口	137°11'00"	35°21'09"

資料：都市計画課

■　各地区の面積

総面積（㎢）	116.16
土岐津	10.97
下　石	8.01
妻　木	15.02
鶴　里	22.03
曽　木	15.86
駄　知	5.77
肥　田	9.60
泉	28.90

■　位　置

■ 主要山岳

鶴岡山	（鶴里）	712m
三国山	（〃）	701m
八剣山	（妻木）	478m
城山	（〃）	404m
夕立山	（駄知）	405m
高根山	（泉）	334m
丸山	（〃）	291m

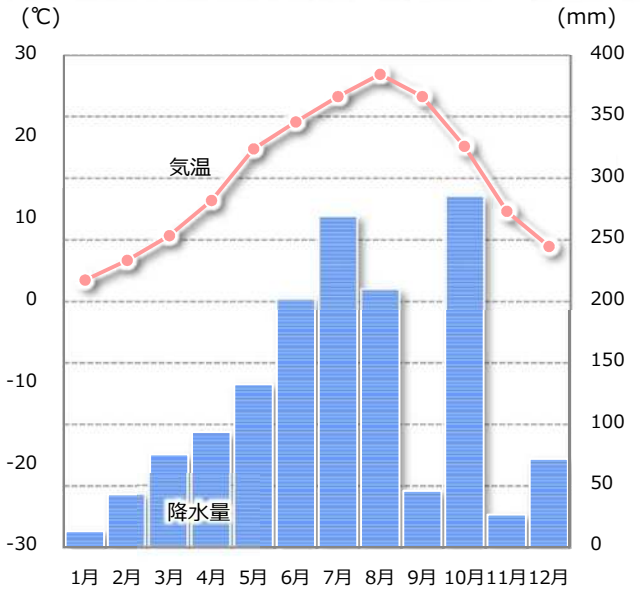
資料：都市計画課

■ 主要河川

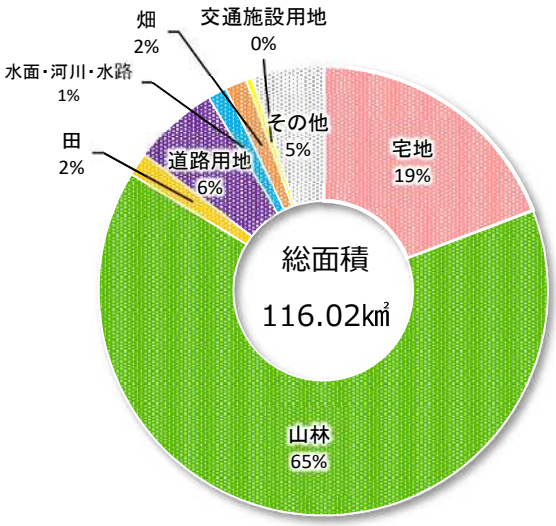
肥田川		13,716m
妻木川		7,855m
土岐川		7,780m
伊野川		2,409m
下石川		2,250m
不動川		1,527m
前の川		1,113m
久尻川		948m
裏山川		790m

資料：建設総務課

■ 月別平均気温と降水量（平成31年・令和元



■ 土地利用状況



資料：都市計画課（基礎調査）

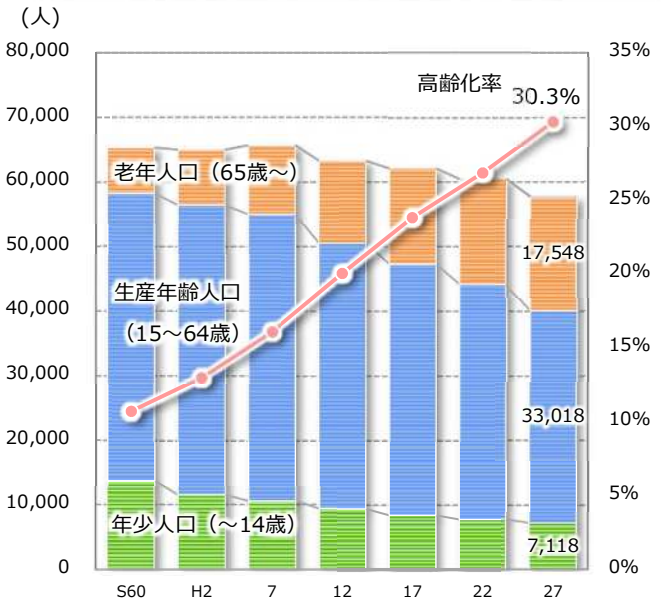
区　分	年　間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高（℃）	―	12.5	16.6	20.1	27.0	32.6	32.1	36.3	36.7	36.0	31.1	22.3	17.2
最低（℃）	―	-6.5	-5.0	-2.8	-2.2	3.4	12.7	19.3	17.8	15.0	9.8	-1.7	-2.7
平均（℃）	15.2	2.6	5.0	8.0	12.3	18.6	21.9	25.0	27.7	25.0	18.9	11.0	6.7
降水量（㎜）	1,470.0	13.0	43.0	75.5	93.5	132.5	202.5	269.5	210.0	46.0	286.0	26.5	72.0

資料：消防本部

人　口

土岐市の人口は、平成7年の国勢調査時には65,631人でしたが、それ以降は減少傾向にあります。人口動態を見ますと、平成13年以降は死亡者が出生者を上回る「自然減」、平成１７年以降は転出者が転入者を上回る「社会減」となり、人口減少が進んでいます。また、15歳未満の子どもが減り続ける一方で、65歳以上の高齢者人口は増加し、総人口に占める高齢者の割合を示す高齢化率は、平成27年の国勢調査時には30.3%まで増加しています。

■　年齢３区分別人口と高齢化率の推移



（人）	S60	H2	7	12	17	22	27
総　人　口	65,308	64,946	65,631	63,283	62,102	60,475	57,827
年少人口	13,710	11,505	10,532	9,363	8,331	7,703	7,118
生産年齢人口	44,598	44,991	44,525	41,207	38,964	36,495	33,018
高齢人口	7,000	8,444	10,574	12,690	14,802	16,252	17,548
高齢化率	10.7%	13.0%	16.1%	20.1%	23.8%	26.9%	30.3%

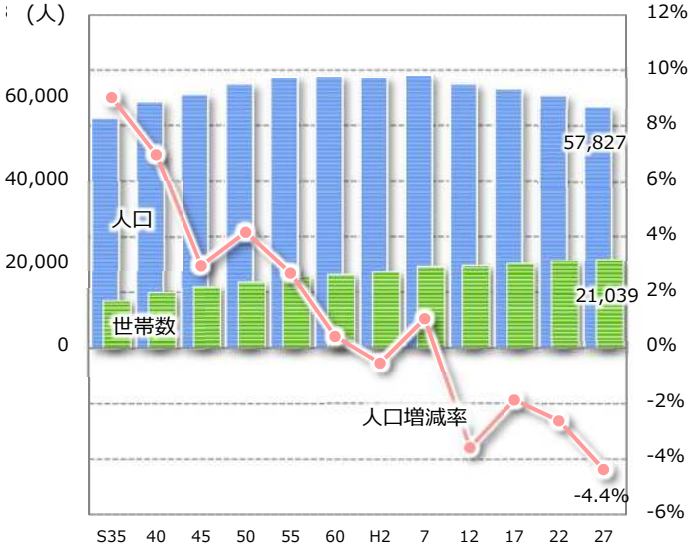
資料：国勢調査

■　人口・世帯数（令和元年10月1日現在）

人口総数	58,099 人
男	28,209 人
女	29,890 人
世帯数	24,615 世帯

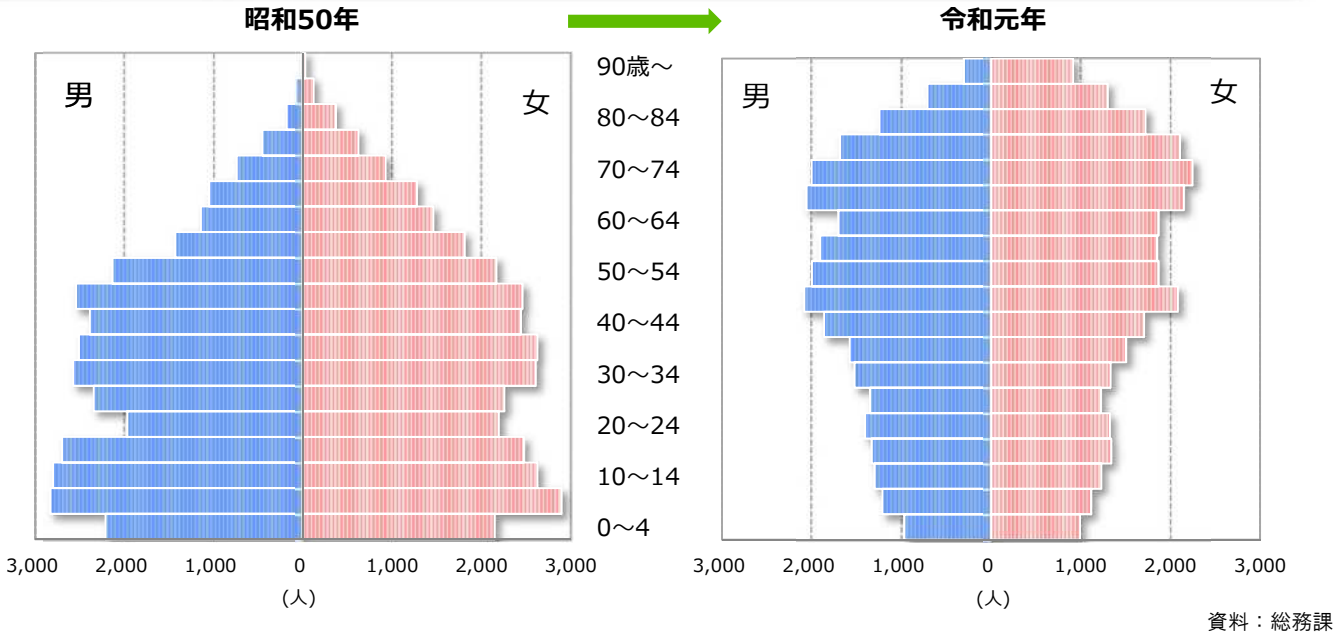
資料：総務課

■　人口・世帯数の推移と人口増減率



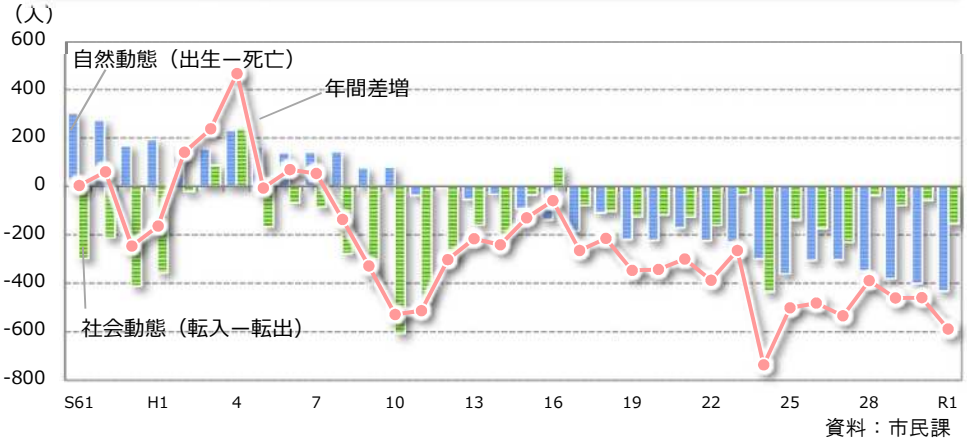
資料：国勢調査

■　人口ピラミッドの推移



資料：総務課

■ 人口動態の推移



資料：市民課

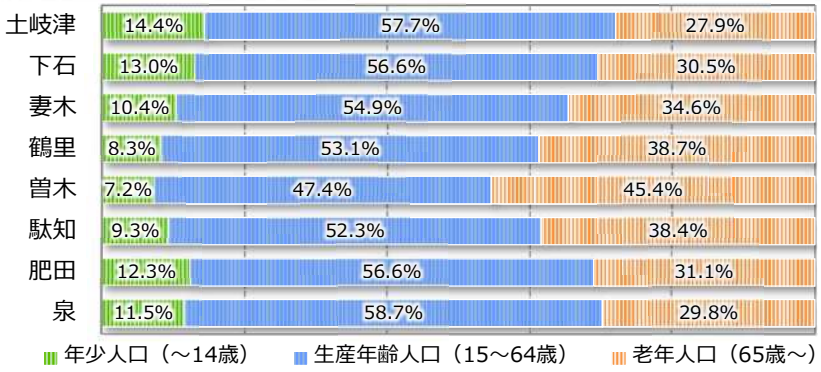
■ 人口動態

（平成31年1月1日～令和元年12月31日）

自然動態	-433人
出生	339人
死亡	772人

社会動態	-155人
転入	1,794人
転出	1,949人

■ 地区別年齢3区分別人口割合



資料：平成27年国勢調査

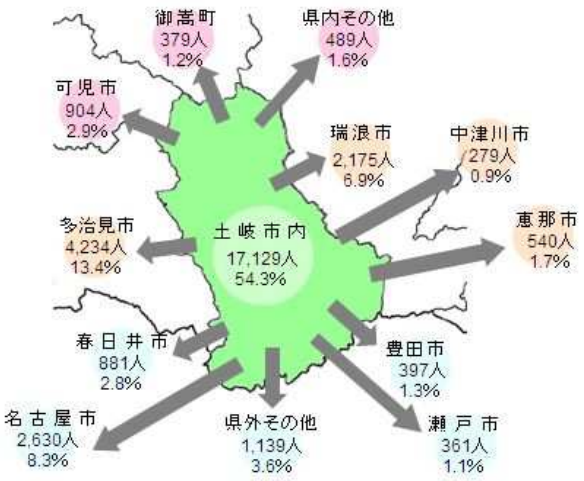
■ 地区別人口と人口密度

（令和元年10月1日現在）

地区	人口（人）	面積（㎢）	人口密度（人/㎢）
総数	**58,099**	**116.16**	**500.2**
土岐津	10,181	10.97	928.1
下石	6,634	8.01	828.2
妻木	6,219	15.02	414.0
鶴里	1,406	22.03	63.8
曽木	848	15.86	53.5
駄知	7,469	5.77	1,294.5
肥田	6,376	9.60	664.2
泉	18,966	28.90	656.3

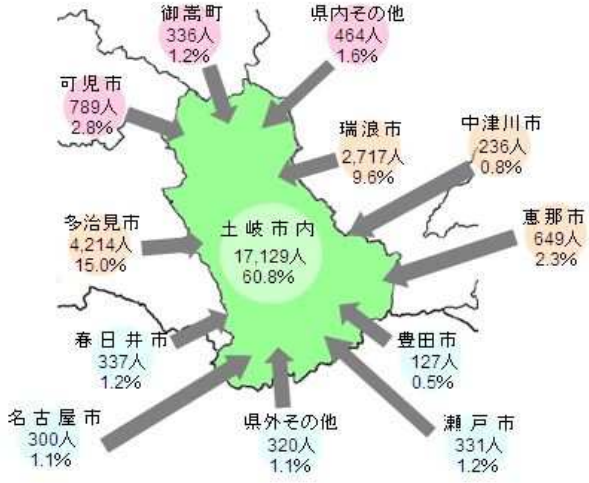
資料：総務課

■ 土岐市からの通勤・通学者数



資料：平成27年国勢調査

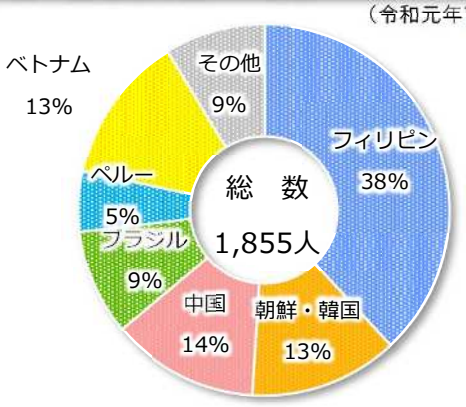
■ 土岐市への通勤・通学者数



資料：平成27年国勢調査

■ 国籍別外国人の割合

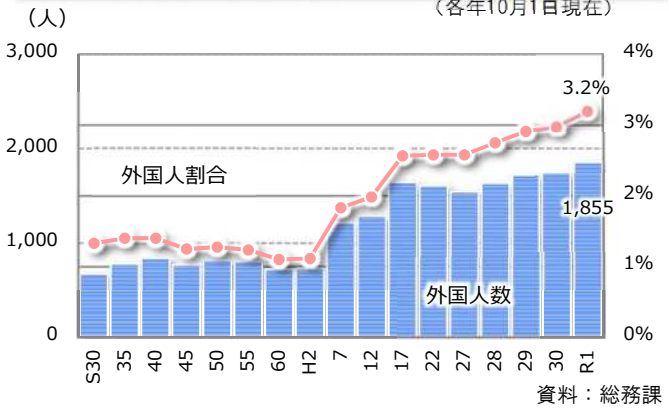
（令和元年10月1日現在）



資料：総務課

■ 外国人の割合の推移

（各年10月1日現在）

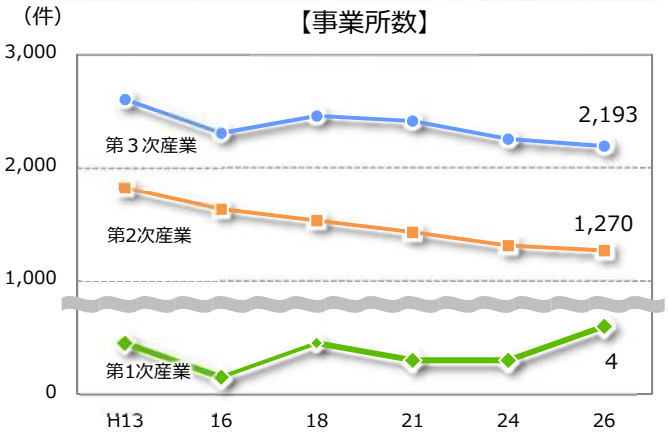


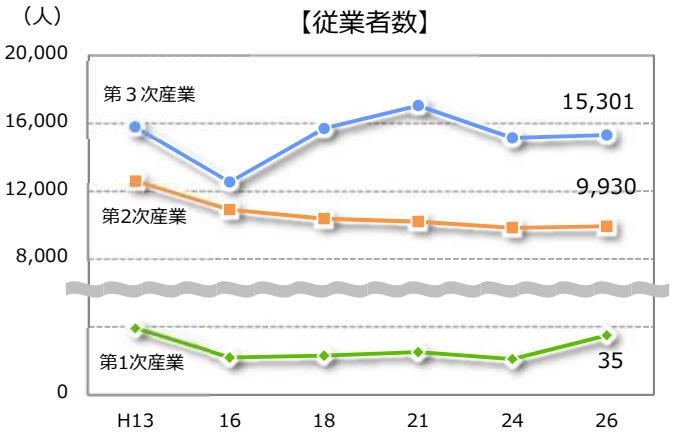
資料：総務課

産　業

土岐市は良質な陶土に恵まれ、古来から美濃焼の産地として栄えてきました。製造業に占める窯業・土石製品製造業の割合は、事業所数・従業員数のいずれにおいても全体の半数以上を占めています。しかし、近年はそのいずれも減少傾向にあります。製造品の輸出額の状況をみると、大半がアジア地域への輸出を占めています。

■　産業分類別事業所数・従業者数の推移

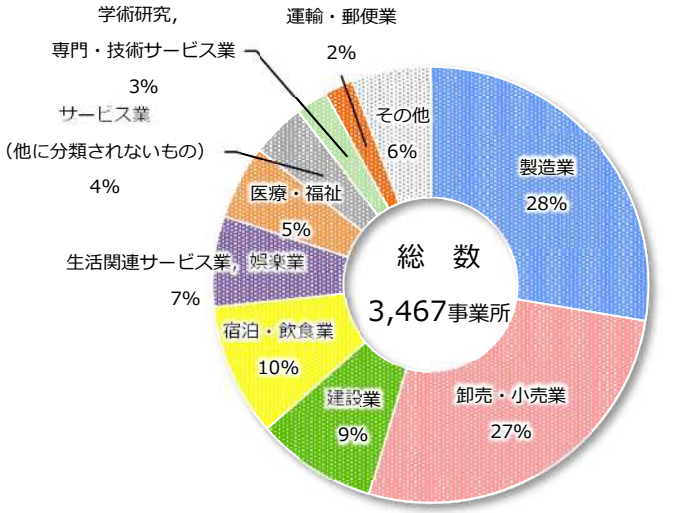




※　平成16年は、事業所・企業統計調査（簡易調査）が実施されたため、事業所数・従業者数は民営の事業所のみの数値となっている。

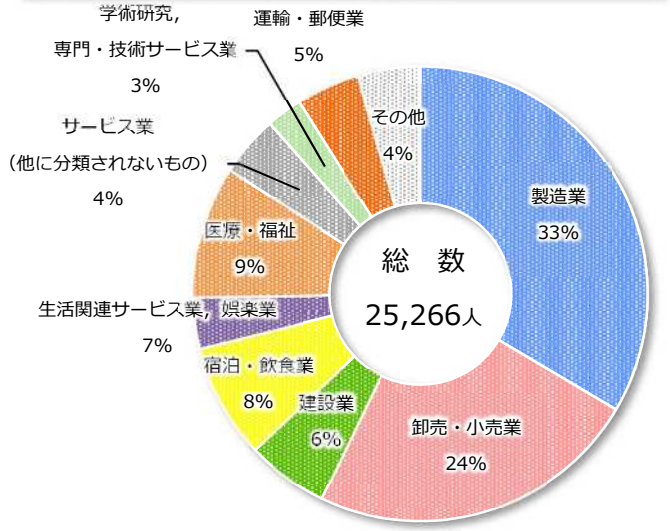
資料：事業所・企業統計調査、経済センサス

■　産業大分類別事業所数の割合



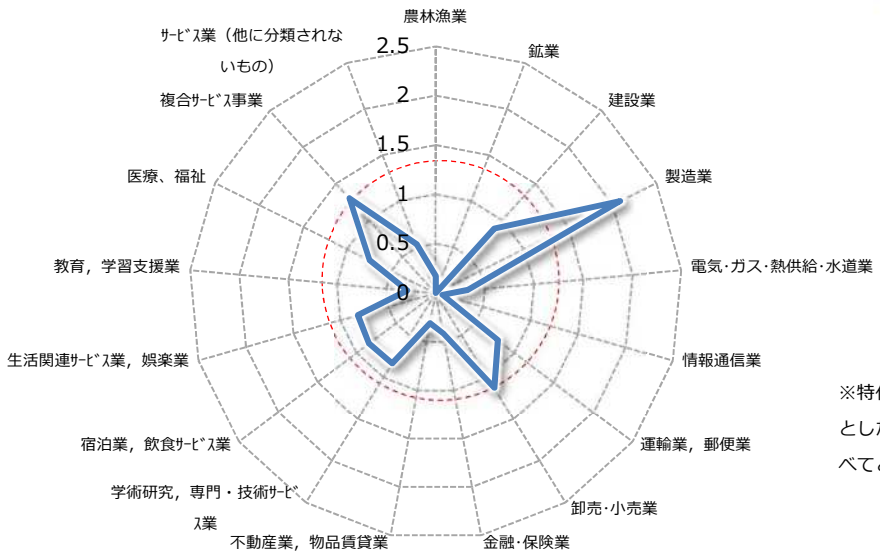
資料：平成26年経済センサス-基礎調査

■　産業大分類別従業者数の割合



資料：平成26年経済センサス-基礎調査

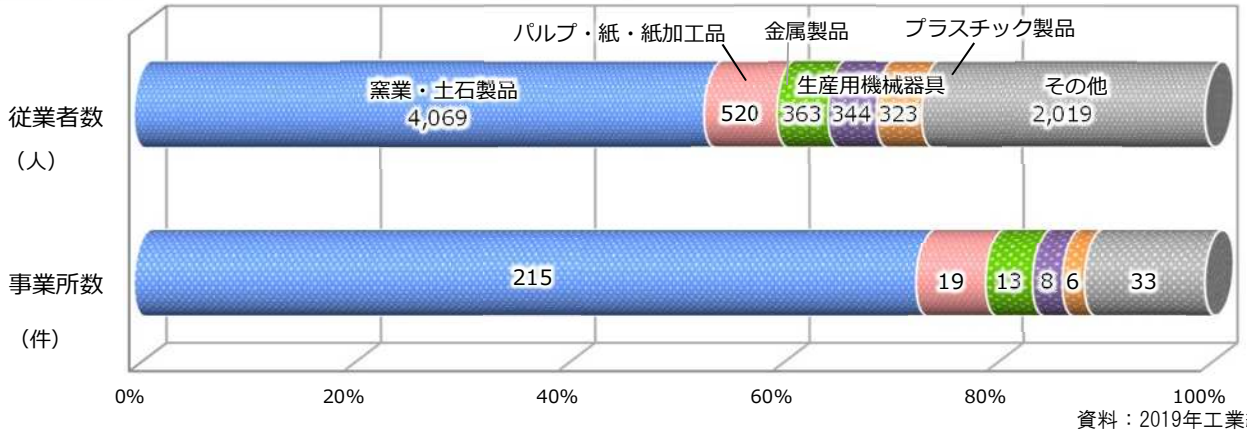
■　産業別従業者数の構成比による特化係数※



※特化係数：全国の各産業における従業者数の構成比を１とした場合に、土岐市が全国の平均的な産業構造の姿と比べてどの産業に偏っているかを示す数値。

資料：平成26年経済センサス-基礎調査

■ 製造業の中分類別事業所数・従業者数の内訳



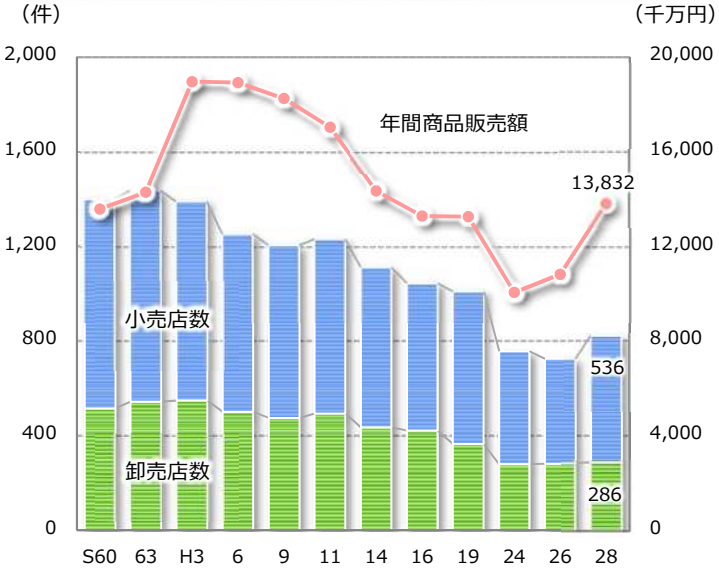
資料：2019年工業統計調査

■ 窯業・土石製品製造業事業所数・従業者数・出荷額の推移

※3人以下の事業所を除く。

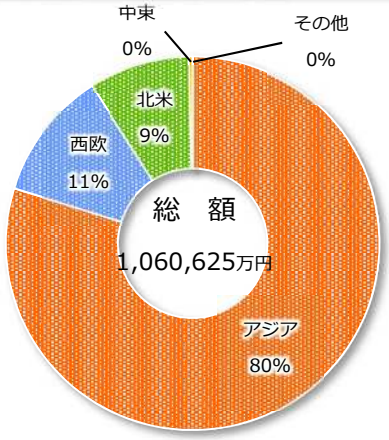
資料：工業統計調査

■ 商店数と年間商品販売額の推移



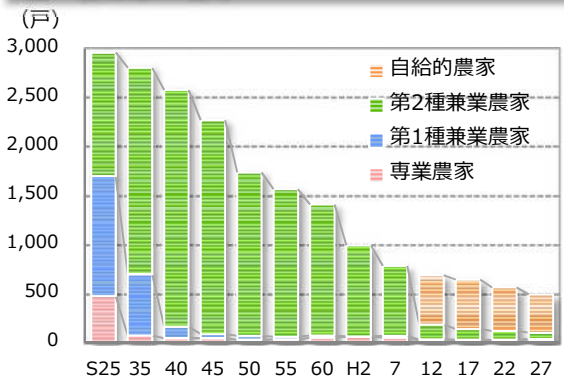
資料：商業統計調査、経済センサス

■ 工業製品の輸出額の状況



資料：2019年岐阜県輸出関係調査

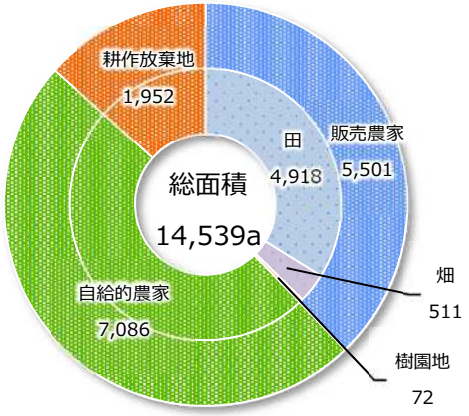
■ 農家数の推移



※平成12年から調査対象の専兼業別区分が変更された。

資料：世界農林業センサス、農林業センサス

■ 耕地面積の内訳

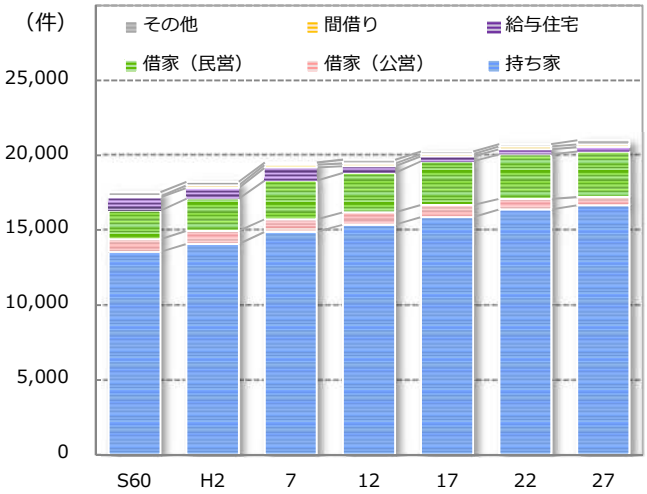


資料：2015年農林業センサス

建築・運輸・観光

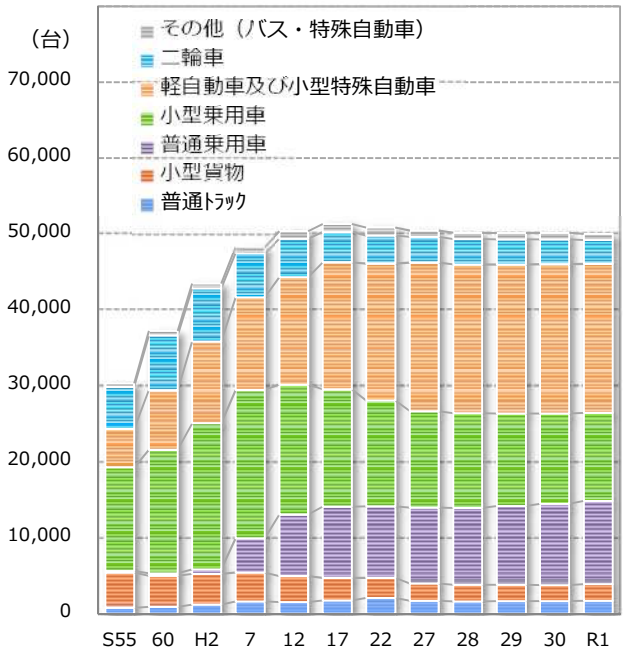
土岐市の住宅の所有関係は、持ち家の割合が高く借家の割合が低くなっています。自動車の保有状況は、ここ数年横ばいとなっていますが、特に軽自動車の所有割合が高くなっています。土岐市は高速交通網が整備され、中央自動車道と東海環状自動車道の結節点として交通アクセスが充実しています。平成25年２月には、東海環状自動車道の五斗蒔PAにスマートICの供用が開始され、さらなる利便性が向上しています。主な観光地・イベント等の入込客数は、平成17年に開業した土岐プレミアム・アウトレットが半分以上を占めており、岐阜県内で最多の入込客数となっています。

■ 住居の種類・所有関係別世帯数の推移

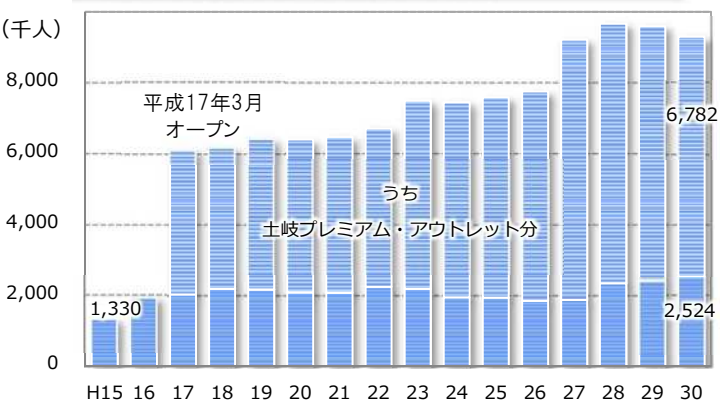


資料：国勢調査

■ 自動車保有状況の推移

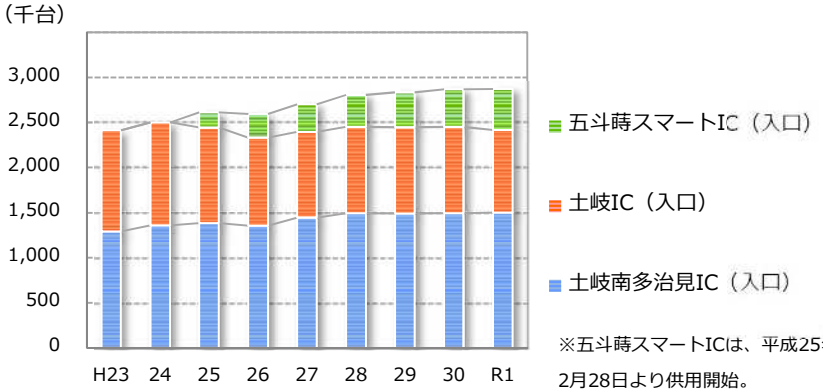


■ 観光入込客数（延べ人数）の推移



資料：岐阜県観光レクリエーション動態調査、同観光入込客統計調査

■ 自動車道ＩＣの利用状況の推移



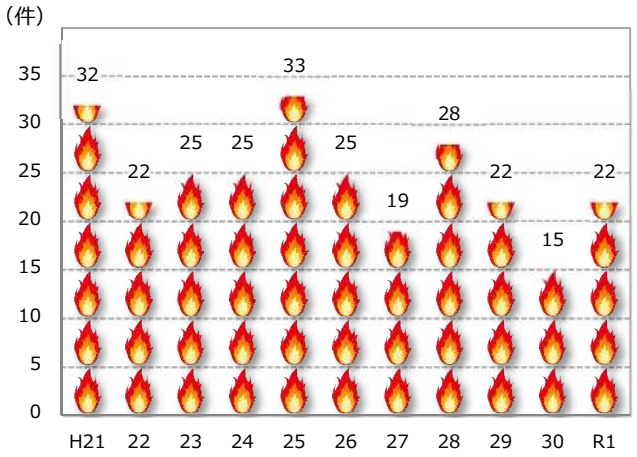
※五斗蒔スマートICは、平成25年2月28日より供用開始。

資料：中日本高速道路株式会社

安　全　・　安　心

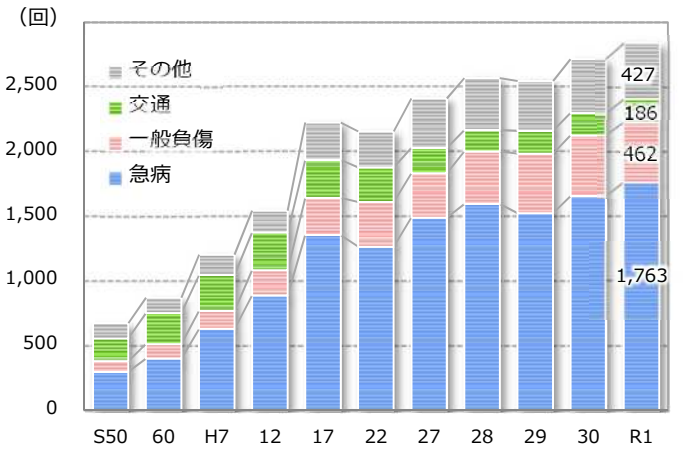
救急車両の出動回数は年々増加しており、その内訳は急病によるものが半数を超え、次いで一般負傷によるものが増加しています。多治見警察署管内における犯罪発生件数は、平成17年をピークに著しい増加があったものの、それ以降は減少しています。交通事故の発生件数及び負傷者数は平成25年以降は減少傾向にありましたが、令和元年に増加に転じました。

■　火災発生状況の推移



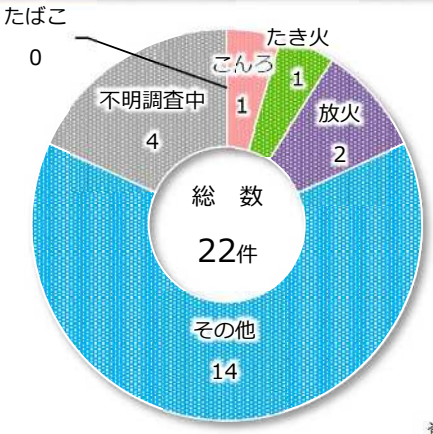
資料：消防本部

■　救急車両出動回数の推移



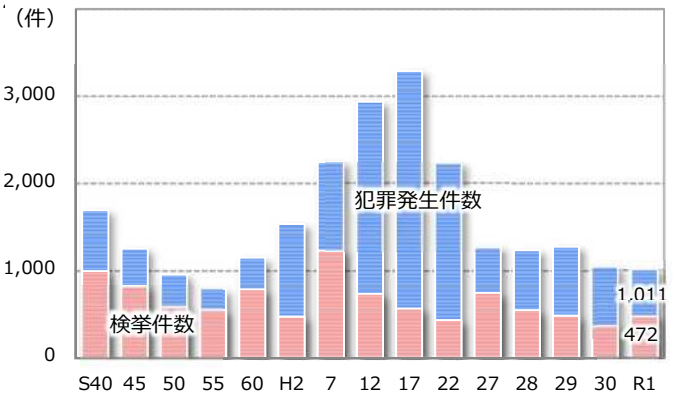
資料：消防本部

■　火災原因別の発生状況（令和元年）



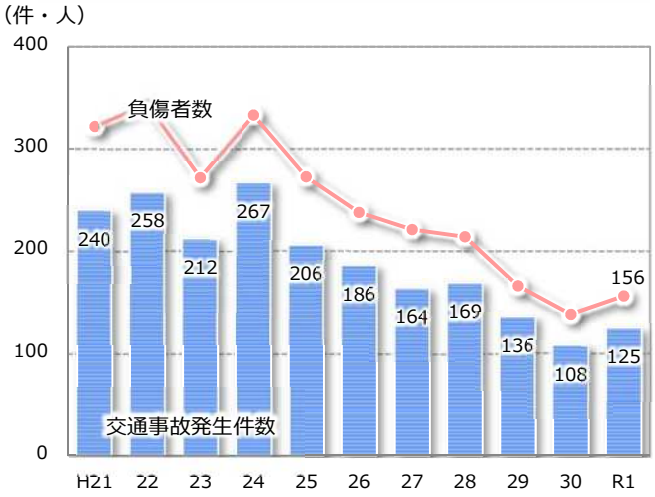
資料：消防本部

■　犯罪発生件数と検挙件数の推移



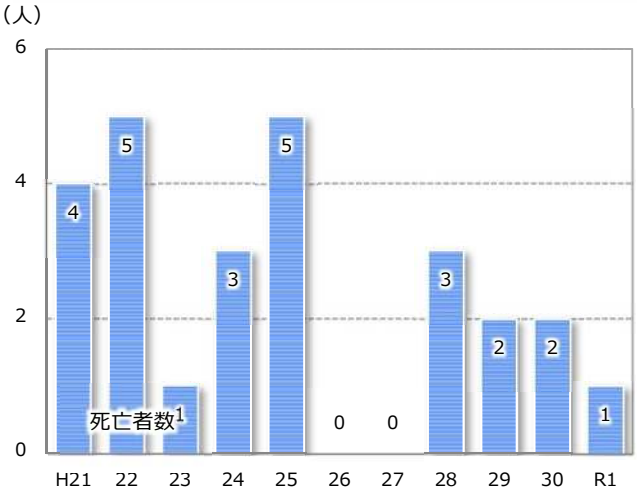
資料：多治見警察署

■　交通事故の発生状況および負傷者数の推移



資料：多治見警察署

■　交通事故による死亡者数の推移

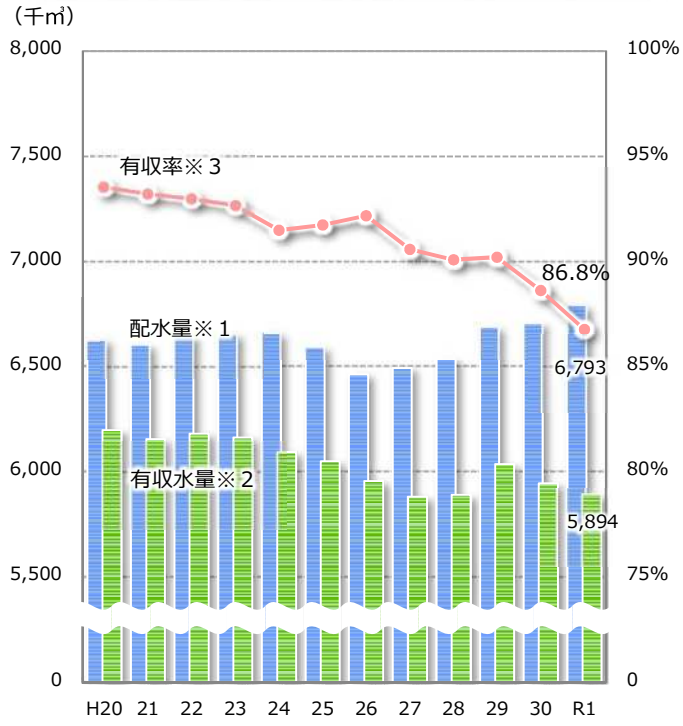


資料：多治見警察署

公　衆　衛　生

下水道を利用できる人口の割合を示す普及率は、平成30年には84.4%にまで増加し、下水道を利用できる地域内で実際に下水道に接続している人口の割合を示す水洗化率も年々増加しています。普及率の増加に伴い、し尿処理収集量は近年減少傾向となっています。ごみ処理量は、全体的に減少傾向にあります。

■　上水道配水量・有収水量・有収率の推移



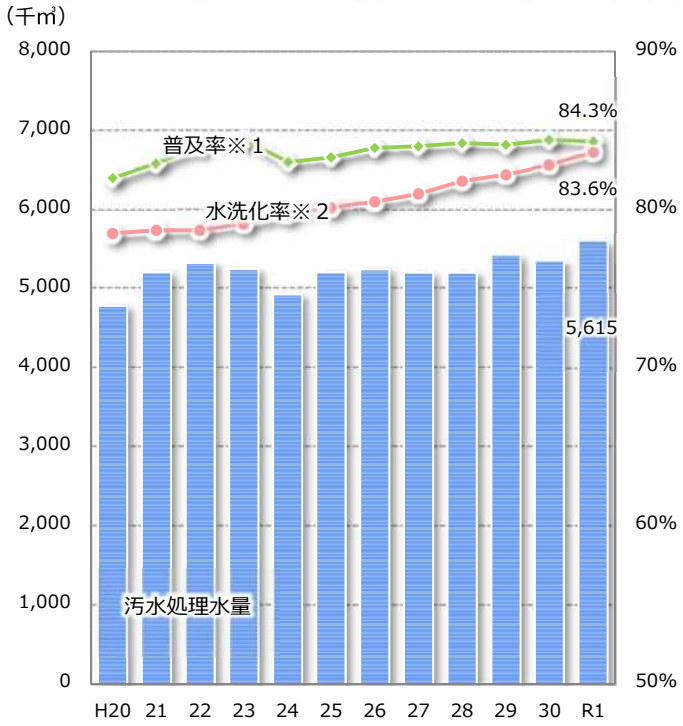
※１ 取水された水量のうち、飲み水として浄水場から配水された水量。

※２ 配水量のうち、料金収入となった水量。

※３ 配水量のうち、有収水量の占める割合。

資料：上下水道課

■　汚水処理水量・下水道普及率・水洗化率の推移

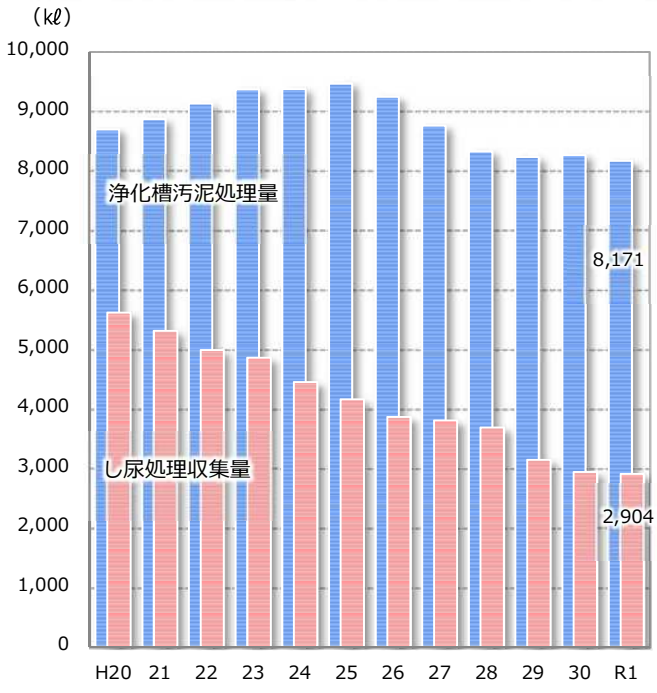


※１ 普及率＝処理区内人口／行政人口

※２ 水洗化率＝水洗化人口／処理区内人口

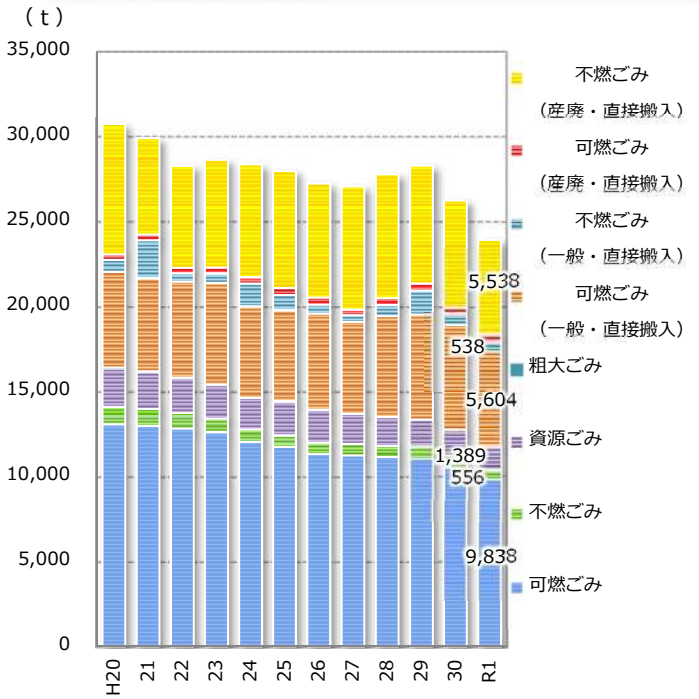
資料：上下水道課

■　浄化槽汚泥処理量・し尿処理収集量の推移



資料：衛生センター

■　ごみ処理量の推移

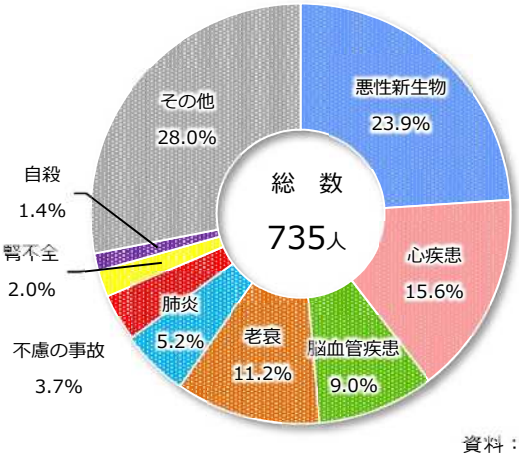


資料：環境センター

厚生・労働・社会保障

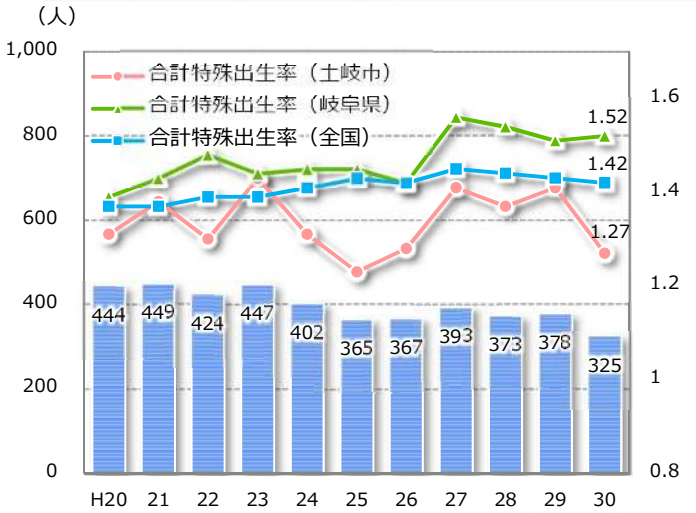
出生者数は平成25年以降増加していますが、土岐市の合計特殊出生率は全国・県よりも低い水準で推移しています。生活保護を受給している世帯数は平成28年以降、年々減少していますが、保護費は平成２９年以降は増加しています。平成2年と比較し、世帯数は約２.７倍、保護費は約2.６倍となっています。介護保険の要介護・支援認定者は年々増加しています。保育所の収容状況は近年は減少傾向にありましたが、令和元年に増加

■ 死因別死亡者数の割合（平成30年）



資料：東濃保健所

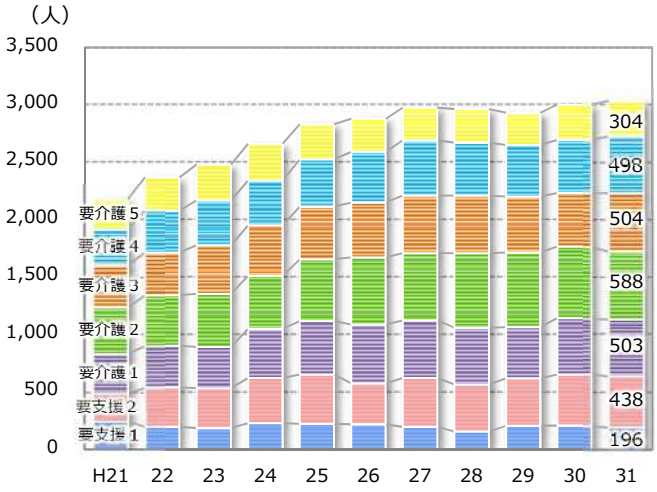
■ 出生者数・合計特殊出生率※の推移



※１人の女性が一生に産む子供の平均数

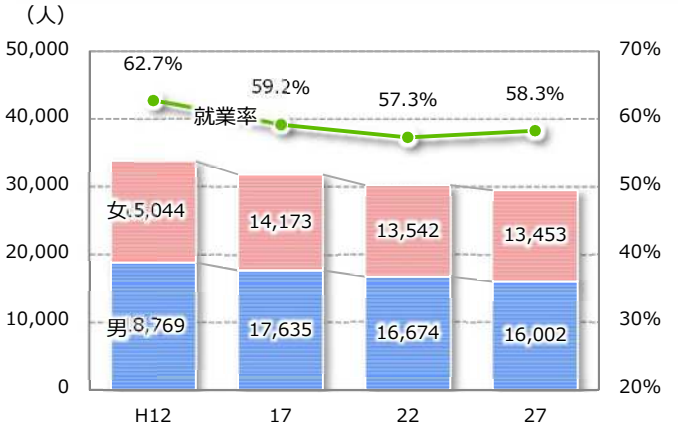
資料：東濃保健所

■ 介護保険の要介護・支援認定者数の推移



資料：高齢介護課

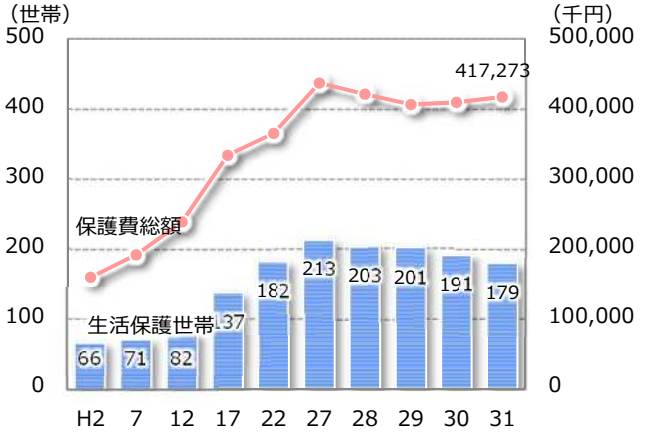
■ 男女別就業者数・就業率※の推移



※15歳以上の人口に占める就業者の割合

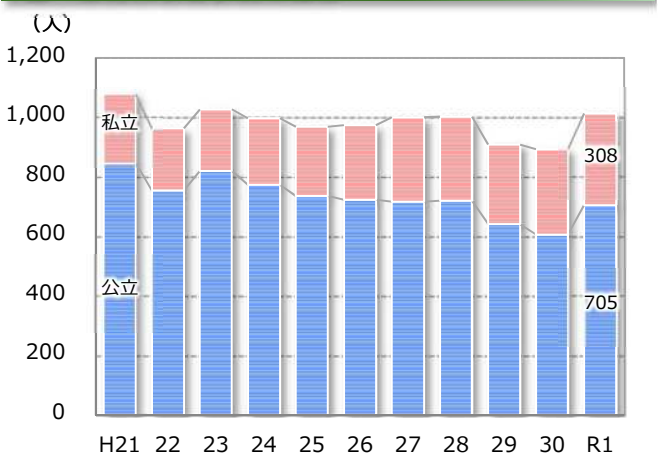
資料：国勢調査

■ 生活保護世帯数・保護費の推移



資料：福祉課

■ 保育所収容状況の推移



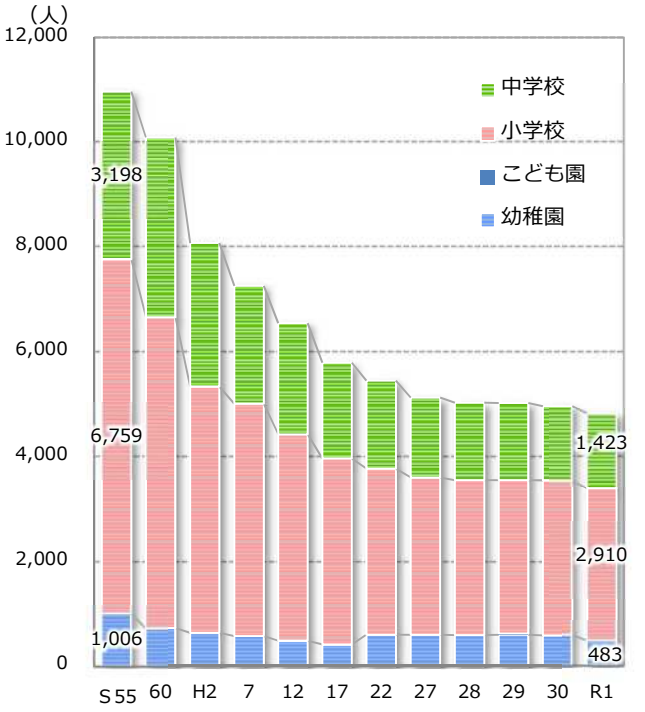
資料：子育て支援課

教　育

少子化の影響により、園児・児童・生徒の全体数は年々減少しており、その数は昭和50年と比較すると約半数程度となっています。特に、濃南地区では小学校のクラスの少人数化が進み、平成27年度に鶴里小学校と曽木小学校が合併し「濃南小学校」となりました。

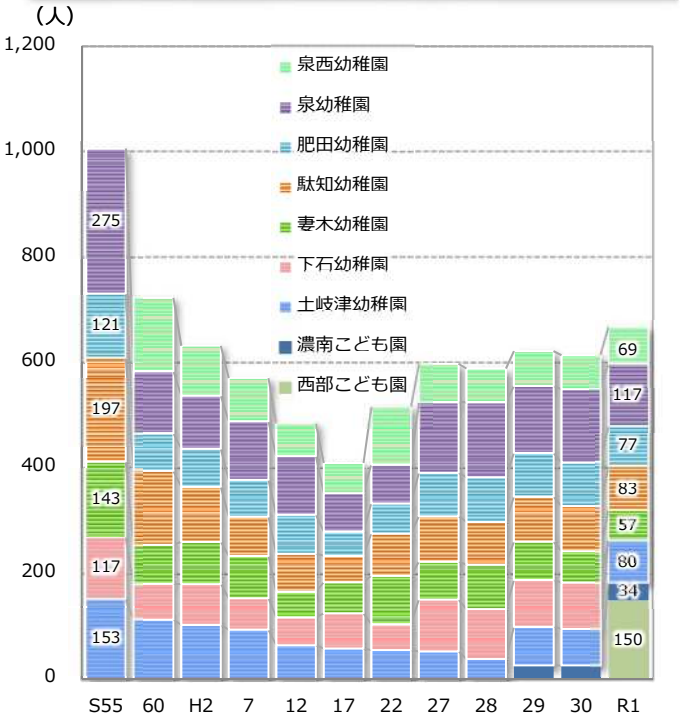
幼稚園児数は平成17年の減少後増加し、一定数を保っていますが、小学校や中学校では大半の学校で人数が

■　園児・児童・生徒数の推移



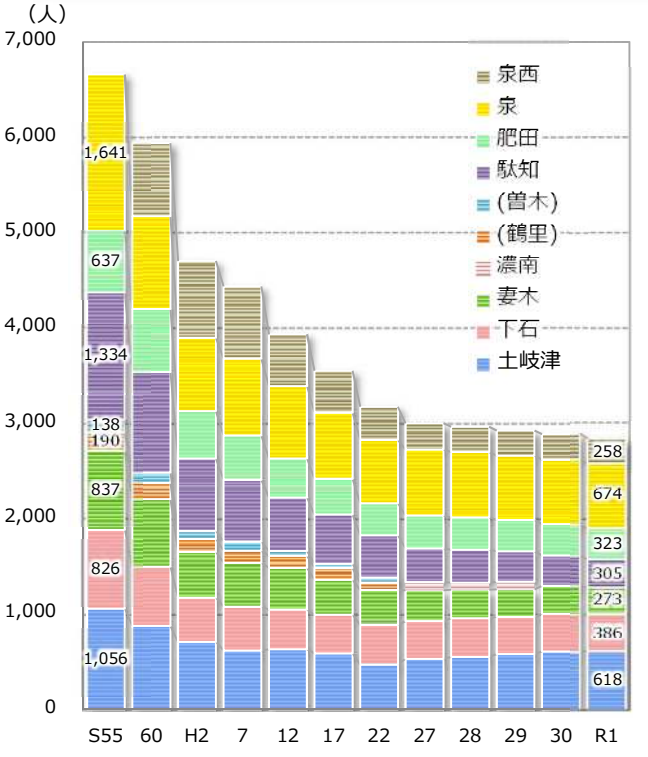
資料：学校基本調査

■　幼稚園・こども園別園児数の推移



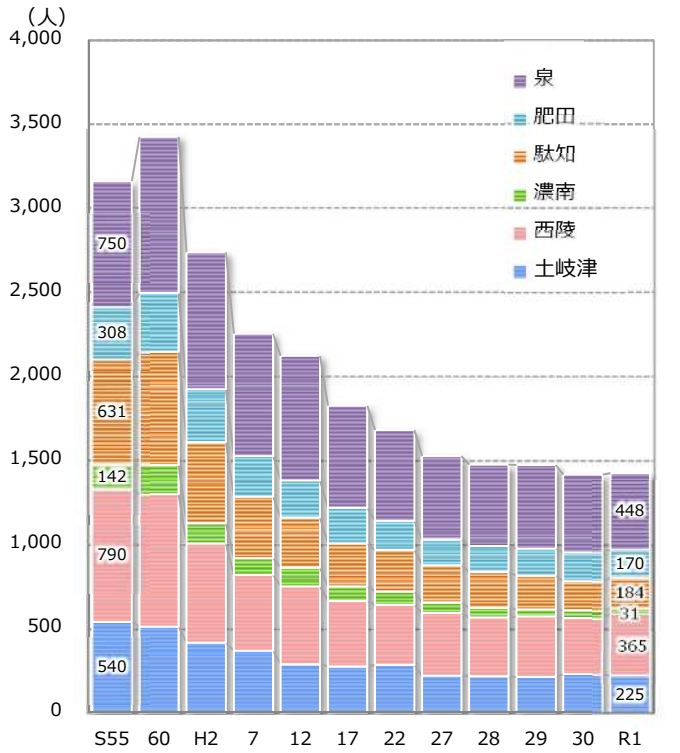
資料：学校基本調査

■　小学校別児童数の推移



資料：学校基本調査

■　中学校別生徒数の推移

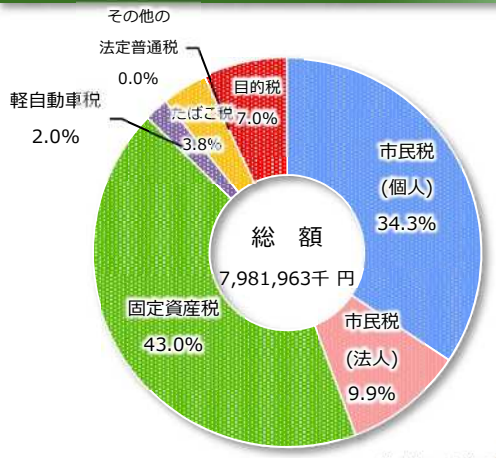


資料：学校基本調査

財　政

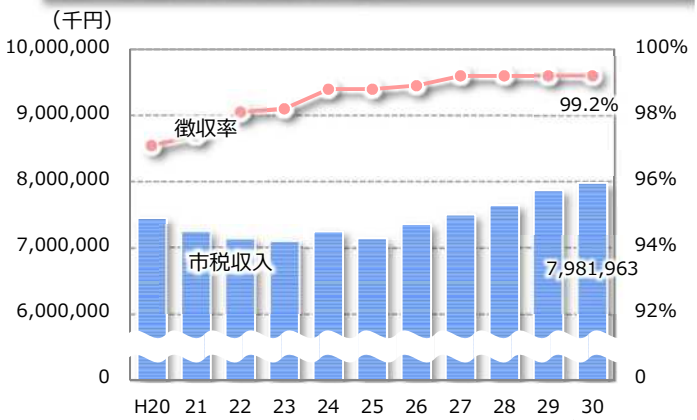
土岐市の税収の大半は、市民税と固定資産税によって構成されています。市税収入は、平成25年以降増加傾向にあり、近年の徴収率は99%を維持しています。
経常収支比率は、平成26年以降は90%を下回っていましたが、平成29年には90%を上回りました。実質公債費比率は10年以上にわたり減少傾向にあります。

■　市税の内訳（平成30年度）



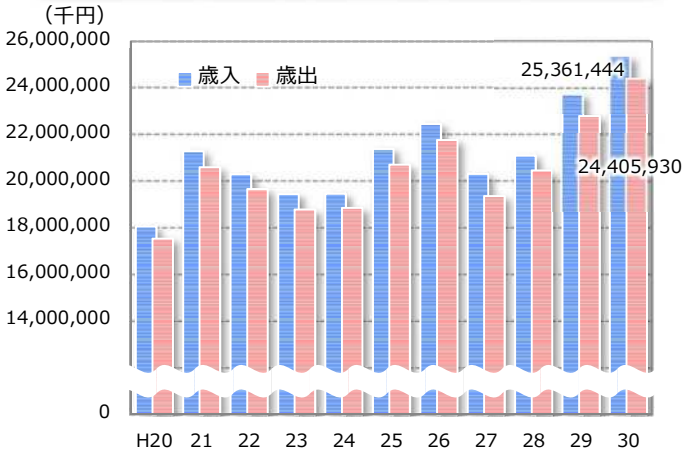
資料：地方財政状況調査

■　市税収入と徴収率の推移



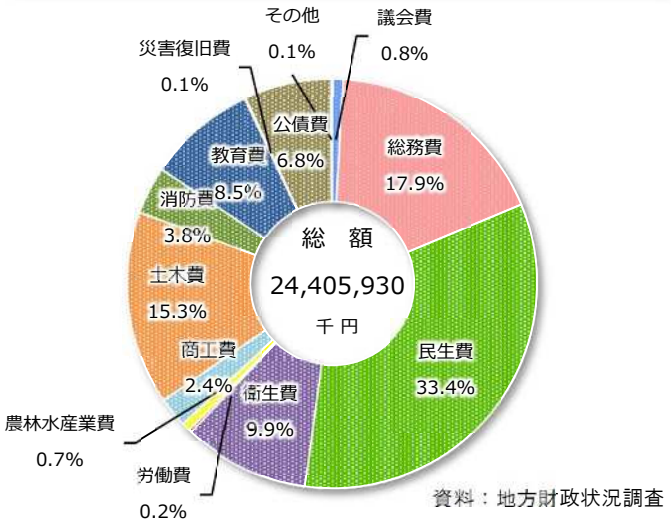
資料：税務課

■　普通会計の決算額の推移（歳入・歳出）



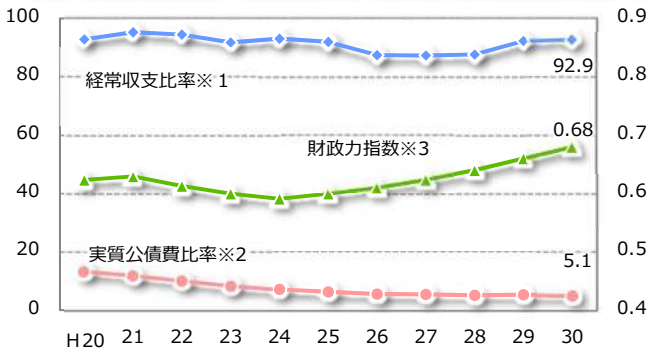
資料：地方財政状況調査

■　歳出（普通会計）の目的別内訳（平成30年度）



資料：地方財政状況調査

■　経常収支比率・財政力指数・実質公債費比率の推移



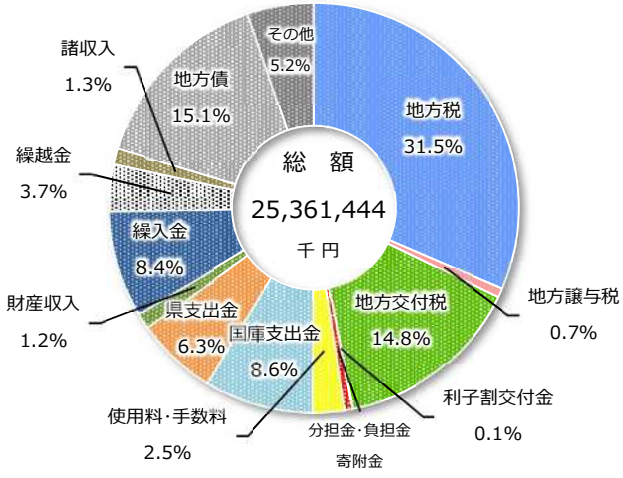
※1　経常収支比率：人件費や公債費など経常的な支出に対して市税などの経常的収入がどの程度充当されているかを表す指標。

※2　実質公債費比率：実質的な公債費（地方債の元利償還金）が財政に及ぼす負担を表す指標。

※3　財政力指数：地方公共団体の財政力を表す指標として用いられるものであり、基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値。

資料：地方財政状況調査

■　歳入（普通会計）の決算額内訳（平成30年度）

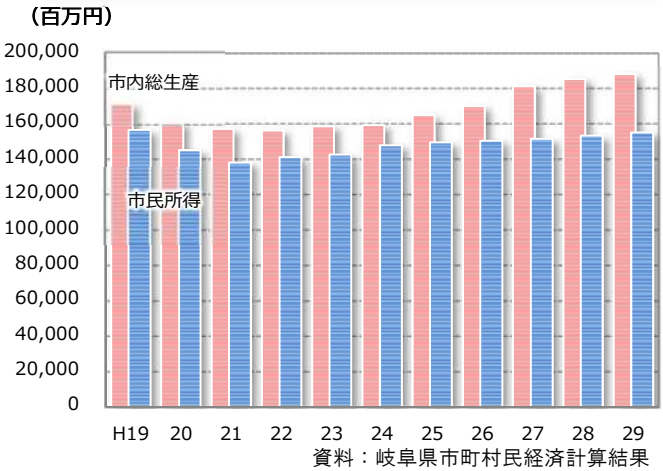


資料：地方財政状況調査

所　得

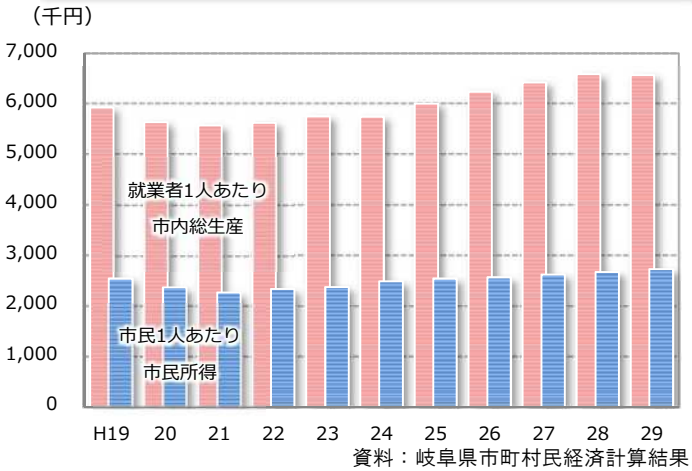
市内総生産は、平成１８年度以降は減少を続けていましたが、平成23年度以降は増加傾向にあります。市民所得についても、平成22年度以降増加傾向にあります。
経済規模の拡大率を表す経済成長率は、平成１８年には−2.2%のマイナス成長となり、それ以降はマイナス成長が続きましたが、平成23年は6年ぶりにプラス成長となり、それ以降はプラス成長が続いています。

■　市内総生産※１・市民所得※２の推移



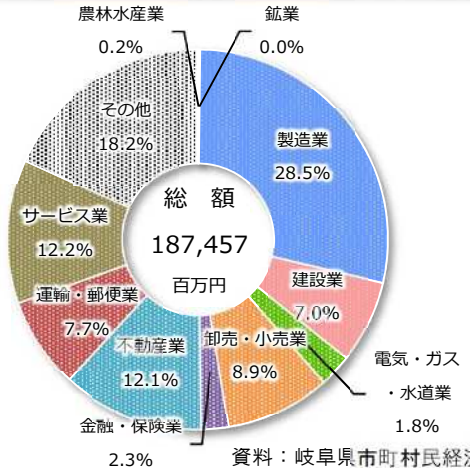
資料：岐阜県市町村民経済計算結果

■　１人あたり市内総生産・市民所得の推移



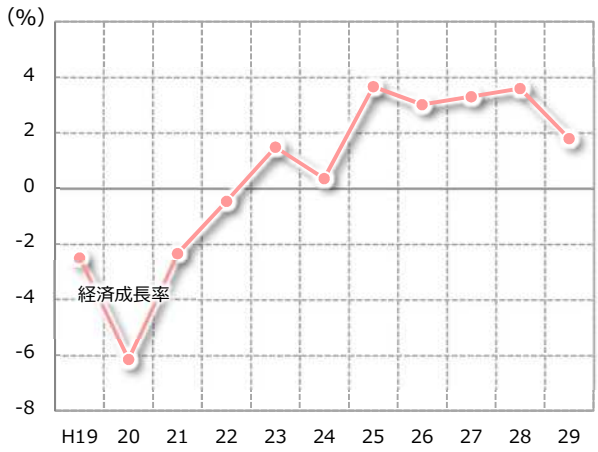
資料：岐阜県市町村民経済計算結果

■　経済活動別市内総生産の内訳（平成29年度）



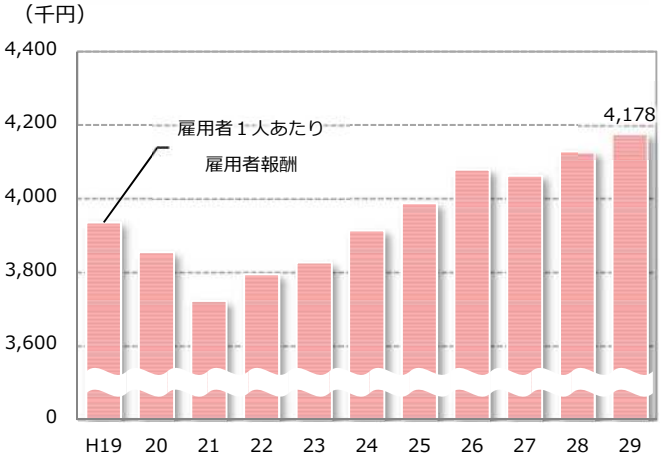
資料：岐阜県市町村民経済計算結果

■　経済成長率の推移



資料：岐阜県市町村民経済計算結果

■　雇用者１人あたりの雇用者報酬の推移



資料：岐阜県市町村民経済計算結果

※1　市内総生産：一定期間内（年度単位の1か年）に、市内の各産業の生産活動によって生産された財貨及びサービスの総額（生産額）から、原材料費・燃料費・消耗品費の経費を差し引いたもの。

※2　市民所得：市内に居住する経済主体（家計・企業・政府）が、市内及び市外の生産活動に参加、提供した生産要素（労働・土地・資本）に分配される報酬金額の合計であり、雇用者所得・企業所得・財産所得からなっている。

※所得項目における数値は、岐阜県市町村民経済計算結果の遡及改訂後のものとなっています。

統計からみる土岐市の暮らし

世　帯

1世帯に
2.36人

出　生

1日に
0.93人

死　亡

1日に
2.12人

高齢者

市民100人あたり
31.75人

結　婚

2.23日に1件

離　婚

5.37日に1件

転　入

1日に
4.92人

転　出

1日に
5.34人

人口密度

1㎢に
500.16人

火　災

16.59日に1件

交通事故

2.92日に1件

救急車出動

1日に
7.78件

水道使用量

市民1人あたり
1日0.27㎥

ごみ排出量

1世帯あたり
1日2.66kg

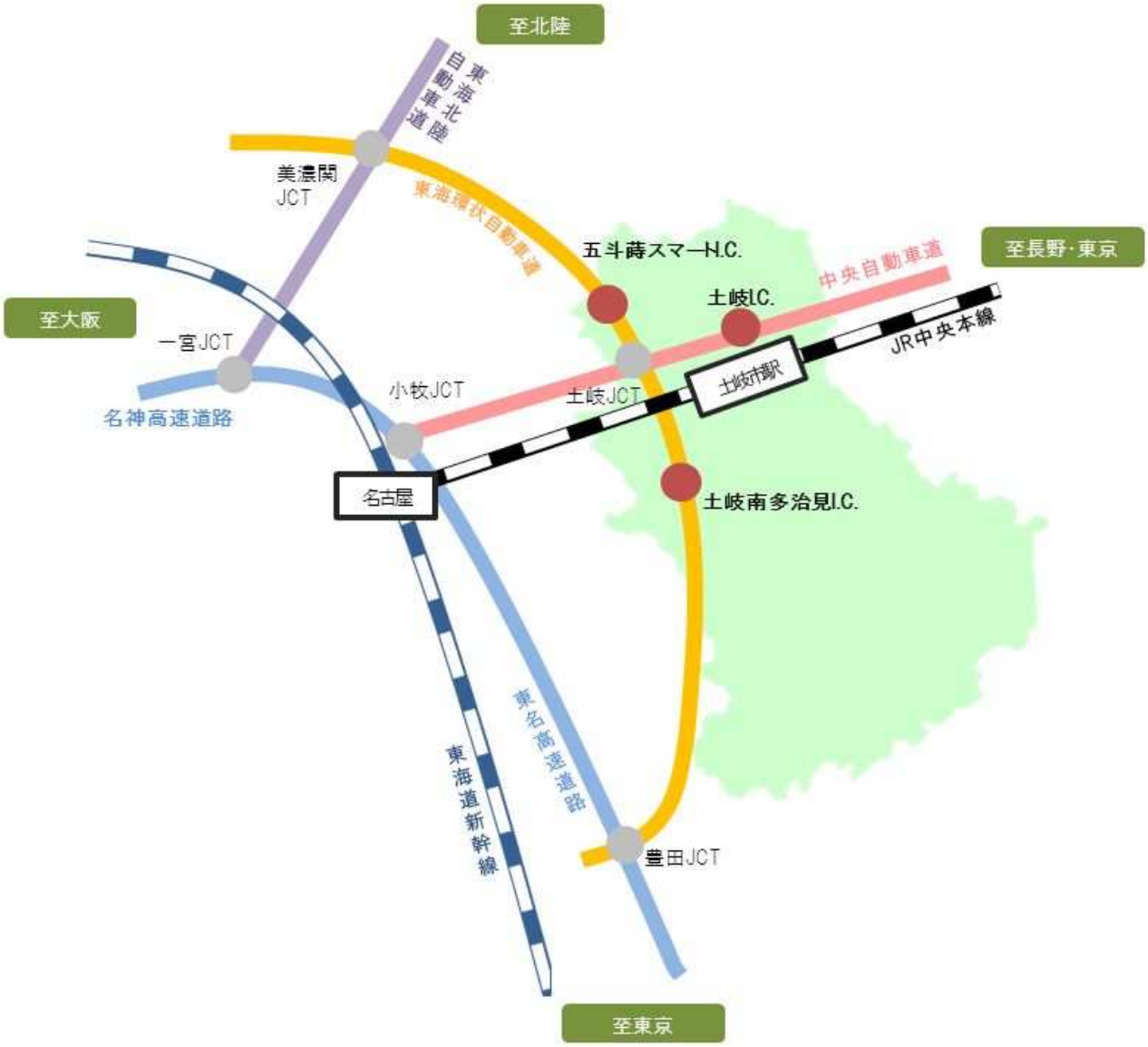
市民所得

市民1人あたり
2,729千円

財政規模

市民1人あたり
420,075円

アクセスガイド



土岐市統計書2019　－概要版－

発　　行　岐阜県土岐市

〒509-5192

岐阜県土岐市土岐津町土岐口2101

電　　話　0572-54-1111（代）

F　A　X　0572-53-0020

U　R　L　https://www.city.toki.lg.jp/

発行年月　令和3年2月